



10月の予定

日	曜日	行事予定	対象
10	木	避難訓練	各クラス
12	土	運動会	幼児
18	金	遠足	幼児
22	火	誕生日会	各クラス

☆ 保護者懇談会のお礼

各クラスとても楽しそうに有意義な時間が流れておりました。子どもを中心とした情報交換、それぞれの大身が共有できるって素晴らしい体験だなと側から見てうらやましい光景でした。心から楽しめて話し合えるってすごいことだなと感じます。

さて、そんなクラスの話し合いのテーマで、「癩癩にどう対応する？」という項目がありました。2歳児クラスだったと思います。ちょっと大事なテーマだと思ったので、少し癩癩について触れたいと思います。

癩癩（かんしゃく）に向き合う

大人にとって子どもの癩癩は厄介な問題になります。ほっといたらわがままに育ってしまう？等の不安はつきものですし、実際にその対応は骨が折れ、根負けすることもしばしばあるのではないかと思います。（私たちの子育てもその連続でした。笑）

2つの癩癩（かんしゃく）

癩癩には、実は2つのパターンがあるといわれています。一つが新しい脳が発動しているパターン。もう一つが古い脳から起きているパターンです。このパターンの違いによって、対応を変えていかないと、子どもはいつまでもその行動の波の中から抜け出せないままになってしまいます。

下記に新しい脳、古い脳が起こす癩癩と思われる行動。それぞれに意味があります。ちょっと知るだけでも子どもの対応に迷いがなくなれば幸いです。どうぞ参考にいただければと思います。



	新しい脳	古い脳
状態	統合状態 自分が「怒ってやる」と決めた時。意図的な行動しているため、感情や肉体をコントロールすることも論理的になること、健全な判断を下すことも可能	非統合状態 激しい動揺などからくる強烈なハイジャック状態。
発生原因	自分が「怒ってやる」と決めたとき ～自分の行為を自覚し、望む結果を得るための戦略、計略～	激しい動揺
対応法	テロリストとは交渉しない 不適応行動がどんな状況を招くか結果を用いて衝動をこらえる練習	やさしさといたわり まず接続、次に方向転換 不安をなくすことが何よりも優先順位